

海外放送センター主催 オープンセミナー (第 26 回)

日中ビジネスセミナー(日中異文化理解&最新中国事情)

"Win-Win の日中関係新時代を築くため!"

日中新時代のビジネス戦略を考える!

中国人スタッフの"日本理解"にも役立つ!

中国の今の姿が見えてくる!

中国人と日本人の違いの源"因って来る所以"を知る!

日まし国際社会で存在感を強める一方、経済成長の鈍化も目立つ中国。

「新常態」とは何なのか? 中国経済の行方は?

「爆買い」に象徴される一般庶民の購買力、内需は?

今後、日本企業は中国とどう付き合うべきなのか、どうすべきなのかを解き明かし、Win-Win の日中新時代を築くために、過去を知り、今を学び、明日に備えるためのセミナーです。

このセミナーでは、好評の「中国異文化コミュニケーション」に加え、「最新中国事情」では、 現在の中国が抱える問題点、今後の見通し、対日関係などを中心に、そこから日中関係の今後 について論じていただく予定です。

国内外を問わず中国関係のビジネスに従事されている方々を対象に、中国人とのコミュニケーションに必要な知識と最新の中国事情をお伝えします。講師は時事中国語研究の第一人者として知られる**麗澤大学: 三潴正道教授**。独自の日中異文化コミュニケーション論と、それに基づく現代中国分析には定評があり、中国進出企業からの講義依頼も後を絶ちません。

【 セミナー詳細 】

開催日	2016年1月13日(水)
時間	9:00~17:30 (開場 8:50)
定員	(先着)30人
場所	飯田橋レインボービル (JR/東京メトロ 飯田橋駅 徒歩5分)
	アクセス: <u>http://www.ienohikariss.co.jp/bld/access/</u>
内容	裏面のプログラムをご参照下さい
講師	三潴 正道 先生(麗澤大学教授、弊社研修顧問)
受講料	43,200円(税込) テキスト代込み (※人事/教育/研修ご担当者は無料)
申込方法	申込書(裏面)に必要事項を記入し、FAX または E-mail にてお申し込み下さい
	後日申込のご確認をメールにてご連絡申し上げます。
	① E-mail: m-yamaguchi@obc-cd.jp まで参加者全員の氏名、企業名、
	部署名、住所、電話番号、FAX 番号、メールアドレスを記入してお申込くだ さい。
	② ファックス: FAX:03-6859-3081
	※ 定員になり次第グ切らせて頂きます
	*お申込期限:2015 年 12 月 18 日(金)

【担当講師:三潴(みつま)正道教授プロフィール】



麗澤大学外国語学部特任教授(当社顧問)

「MM メソッド」と呼ばれる独自の中国語教育システムを開発。また時事中国語研究の第一人者として知られる。 異文化コミュニケーション論とそれに基づく現代中国語の分析には定評がある。

著書・訳書に『論説体中国語 読解力養成講座』、『「氷点」停刊の舞台裏』、『必読!今、中国が面白い―2015-2016年版』、シリーズ『時事中国語の教科書』(毎年出版)、その他、中国語会話・文法書など教科書多数。 弊社 HPで『現代中国放大鏡』を執筆。

【カリキュラム(予定)】

【はじめに】直近の重要トピック

【1】基礎の確認《異文化へのアプローチ》

異質と異文化の違い/異文化への気付きと分析能力トレーニング

- 【2】《相手を知る(中国人の言動・行動を構成する諸要素)》
 - 「異文化整理ダンス」に「違いの来源引き出し」を作る。視点転換作業-
 - (1) 歴史的要因に由来するもの「いかにして自分の身を守るか」 中国宴会マナー10 のポイント
 - (2) 文化として形成されたもの I (中国人気質-実利主義と結果主義)
 - (3) 文化として形成されたものⅡ(価値観・視点の違い)
 - (4) 社会の仕組みと制度の違いによるもの「日本人を惑わす中国人の3つの立場」
 - (5) どっちもどっちと誤解の産物
- 【3】《中国ビジネス 必須の基礎知識『地理的視点』》
- 【4】《最新!中国現代事情「変貌し続ける中国」》
 - <第一のテーマ> 地域発展戦略-発展モデル「三沿開放」
 - <第二のテーマ> 地域発展戦略-「交通インフラ整備」
 - <第三のテーマ> 地域発展戦略-「経済圏の形成、一本化と分業化」
 - <第四のテーマ> 地域発展構想の新展開と新国土計画-「全国主体機能計画」

【最後に】日本企業最大の弱点「三潴からの警鐘」

これからの中国ビジネスに不可欠なスキル

FAX: 03-6859-3081

E-mail m-yamaguchi@obc-cd.jp

第 26 回 日中ビジネスセミナー お申込書(お申込期限:2015年12月18日)

開催日	2016年1月13日(水)
会社名	
所属部署名/役職	
フリカ ^{・ナ} 氏名	
請求書ご送付先	〒 −
ご連絡先	TEL/FAX
E-Mailアドレス	